

人が中心のロボット利活用 社会をデザインする

代表者
機械システム工学科 教授 吹田 和嗣

■概要・設置目的

ロボティクスの産業と社会への貢献、利活用を加速するために学内のデザインとテクノロジーの有識者の研究力を融合させる。多様な領域、産官学を横断した仲間づくりをすすめる、共創する場を設置する。特に人・ロボット・環境（建築を含む）にまたがる課題をシステムやしくみ創りを通して解決していくことを目的とする。



人中心のロボティクスとデザイン

■課題・目標

課題 1

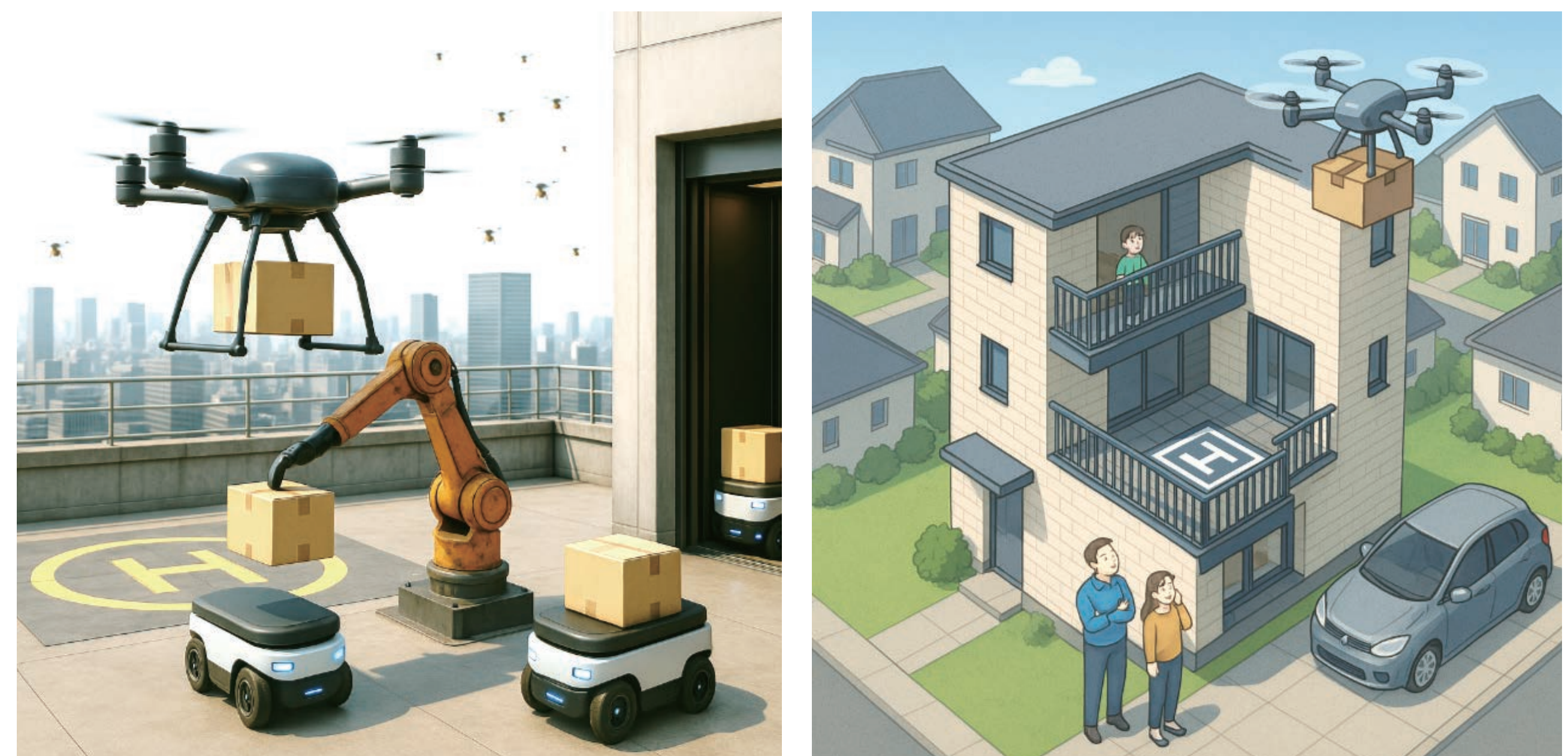
安全、健康、ウェルビーイングに資する人を中心としたロボティクス活用を促進するために、人との協調化研究、環境と調和した人とロボットに優しい技術や仕組みに関する研究を推進する。



人とロボットが助け合う技術としくみ

課題 2

空と陸のモビリティ・ロボティクスの融合を踏まえて、今後の産業と社会ニーズを目指し、建物をはじめとする環境との連携・協調化に関する実証的研究を推進する。



産業と社会での新ロジスティクス実証